

〈様式2〉

令和5年度 体力向上における各校の成果(中学校)

坂井市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	三国	中学校	年間を通して、授業の始めに瞬発力や巧緻性を高めるアップを継続したことで、少しずつ生徒の体力が向上してきたため、来年度の体力テストにその効果が出ることを期待したい。昼休みに体育館でバスケットボールやバレーボールをする生徒が増え、進んで体を動かそうとする生徒が増えてきた。体育祭のフォークダンスに向けて、体育の授業で3年生がダンスをつくり、1・2年生に教えた。ダンスを通して学年を越えた絆が深まった。
2	丸岡	中学校	単元ごとに補強運動に取り組むことで、体力向上を図った。体力テストの合計平均点では、昨年度と比べて2年男子が8.3点、3年男子が5.8点、2年女子が3.6点、3年女子が1.4点上昇した。特にボール投げにおいては、各学年とも高い数値を出している。 グループ学習を積極的に取り入れたことで、ダンスや器械運動の授業ではお互いの動きに対してアドバイスをする姿が多く見られた。
3	丸岡南	中学校	今年度は、ほとんどの授業を男女共習で行うことやペア学習、グループ学習の相手を毎回変えることを通して、いろいろな生徒と共に活動することができる協働の機会を増やしたことで、学期末の生徒の学校評価アンケートでは、日頃の体育の授業や部活動に一生懸命に取り組むことができたと回答した生徒の割合が97%になった。
4	春江	中学校	体育の授業の中に単元に応じたウォーミングアップを設けたことで、体力テストのボール投げでは2・3年生の男子が全国平均を超えることができた。
5	坂井	中学校	学習カードやICT機器を活用することで、課題に主体的に取り組む姿が見られ、振り返り活動に意欲的に取り組む姿が見られた。本校が年度末に行う学習アンケートの結果を見ると、保健体育の学習が好きと答えた生徒は6%、授業の内容はよく分かると答えた生徒は4%、昨年度より増加していた。 授業の始まりに行う準備運動でダッシュや音楽をかけながらの時間走、球技の単元では、ボールを遠くに投げることや、狙って投げる動きなどを取り入れるなどの工夫を継続したことにより、体力テストの結果において、昨年度まで課題であったボール投げと持久走は、全国・県平均を上回る学年が増え改善傾向にある。 体育祭では、体育委員が中心となって競技種目を考え、企画・運営することができた。球技大会でも生徒が主体となって運営できるよう取り組んでいる。